

グローバル・ロジスティック・プロパティーズ

日中を中心とするアジア事業が好調だった上、米州の業績拡大も注目される

シンガポール | 物流 | 業績レビュー

BLOOMBERG GLP:SP | REUTERS GLP.SI

- 2016/3 期 1Q (4-6 月) は主力の物流業などの売上高が前年同期比 12.4%増の 1.9 億 USD となった。大幅に増収したファンド・マネジメント事業が寄与し、純利益が同 49.7%増の 2.7 億 USD となった。
- 地域別での 4 事業は全て好調。主力の中国事業の純利益が倍増、日本事業の増収率も 2 桁。ブラジル事業の純利益が同 9 倍の大幅増だったほか、新規で参入した米国事業も黒字を達成した。
- 2016/3 通期の市場予想は売上高が前期比 14.9%増の 8.0 億 USD、純利益が同 2.5%増の 5.0 億 USD である。

What is the news?

2016/3 期 1Q (4-6 月) は主力の物流業などの売上高が前年同期比 12.4%増の 1.9 億 USD となった。主力の中国や日本の物流事業が好調に推移したほか、純利益が同 9 倍となったブラジルや、黒字を達成した米国事業も寄与した。また、資産価値の上昇を伴い、ファンド・マネジメント事業の利益も継続的に拡大している。

事業別の純利益では、中国事業は前年同期比 2 倍の 9,900 万 USD。堅調な中国国内の E-コマースや、自動車市場がリース事業をけん引した。レンタル事業の伸長と賃料の上昇も寄与した。日本事業の純利益が同 22.1%増の 1.6 億 USD、リース事業が好調だったほか、東京首都圏での新規 2 つのプロジェクトが稼働し収益を創出した。また、ブラジル事業の純利益が同 9 倍の 1,800 万 USD、2015/2 から新規に参入した米国事業は純利益が 600 万 USD となった。一方、その他事業は▲1,500 万 USD と前年同期の▲2,000 万 USD から赤字を縮小した。

How do we view this?

2016/3 通期の事業別会社予想では、中国事業は国内輸送投資の拡大と、急伸している E コマース市場が牽引し、新規契約金額が前期比 5%増の 17 億 USD を見込む。日本事業は東京と大阪地区の新規物流プロジェクトの設置・稼働を計画しており、新規契約金額は同 48%増の 9.8 億 USD を見込む。また、ブラジルでは経済の成長は緩やかであるが、内需の拡大に伴いサプライチェーンの改善に向けたリース需要から新規契約金額が 2.5 億 USD となる見通し。

業績推移

※参考レート 1USD=121.71円

事業年度	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3F	2017/3F
売上高(百万USD)	639	617	696	800	960
純利益(百万USD)	684	685	486	498	545
EPS(USD)	0.14	0.14	0.09	0.10	0.11
PER(倍)	15.86	15.86	24.67	22.20	20.18
BPS(USD)	1.77	1.84	1.81	1.88	1.94
PBR(倍)	1.25	1.21	1.23	1.18	1.14
配当(USD)	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
配当利回り(%)	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

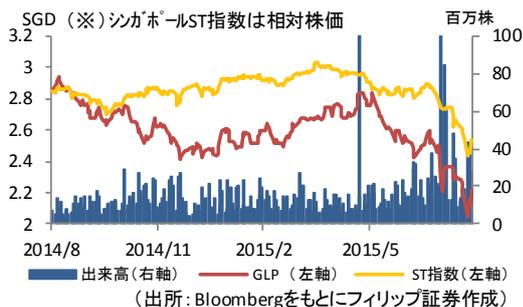
配当予想 (USD) 0.04 (予想はBloomberg)
終値 (SGD) 2.22 2015/8/28

会社概要

最新鋭の物流施設をトータルで448百万㎡有し、中国、日本、ブラジルや米国で展開している。2024までに、世界中主要107箇所物流拠点を設置する計画がある。同社は、世界的な製造業、小売、サード・パーティー・ロジスティクスにより良いサプライチェーンのインフラを提供している。ただ、需要の大半が国内であるため、シンガポール国内の消費動向が同社需要のキードライバーとなっている。

企業データ (2015/8/28)

ベータ値	1.11
時価総額(百万SGD)	10,663
企業価値=EV(百万SGD)	13,399
3か月平均売買代金(百万SGD)	22.66



主要株主 (2015/8)

1. GIC Private Limited	36.20
2. Hillhouse Capital Management	8.05
3. BlackRock	7.10

アナリスト

袁鳴

ming.yuan@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

2015年8月31日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 北浦優子

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。